

口蹄疫の対策

侵入防止対策

- ①発生国への渡航の自粛
- ②農場の出入りの制限
- ③適切な消毒の実施
- ④野生動物への農場への侵入防止

症状



発熱、よだれ、跛行(外傷、奇形、その他の疾患により正常な歩行ができない状態)が初期症状である。

水疱は、舌、歯齦、口腔粘膜、鼻孔粘膜、蹄間部、乳房、乳頭などにみられる。

ただし、めん山羊にも水疱が同部位に形成されるが、症状は牛ほど明瞭ではない。

発見したら

獣医師、または家畜保健衛生所まで連絡する。

茨城県県南家畜保健衛生所

〒300-0051

茨城県土浦市真鍋 5-17-26

TEL : 029-822-8518

FAX : 029-822-7375

※出典 (農業・食品産業技術総合研究機構)

<http://ss.niah.affrc.go.jp/disease/FMD/japan/murakami.html>